

◎特産品の開発事業

地域資源を活かした賑わいの創出を目指すため、“担い手”と行政が連携して、健康づくりや産業の発展に繋がる「オリーブ」栽培に取り組み、住民が心豊かに暮らすことのできる持続可能なまちづくりを目的とするためオリーブ講習会を実施し、28名が参加しました。

実施日：平成30年11月27日（火）

講師：株式会社オリーブアカデミー
代表取締役 古賀 直樹

場所：御宿町役場2階大会議室

講習内容：①オリーブの葉の力について
②土づくり
③オリーブ事業について
④苗木の植付け方



オリーブ栽培は、実を成らし収穫するまでにはかなりの時間がかかるので、収益に繋がる手法を考えることが必要であり、苗木を植栽して1年後から収益を上げるためのお話がありました。

オリーブは、幅広く可能性を秘めており、特に葉を活用することによって地域が活発になり期待できる植物ということが分かりました。

土づくりはバーク堆肥（杉、ヒノキの樹脂）石灰等を配合する。オリーブの植栽で重要なことは、しっかりとした苗木を選定して植えることがポイントであるとのこと。

■地域資源「賑わい」の創出のために

農家、宿泊業者、飲食業者などのほか、地域住民が担い手となり産業連携を図りオリーブの生産から利活用に取り組みます。

